

令和6年度Uターン・Iターン者の状況について

1. 概要

Uターン・Iターン者を「県外から島根県に転入し、転入市町村に5年以上居住する意思のある者」と定義し、平成27年度から独自に調査を実施

(1) Uターン・Iターン者数

総数は3,502人で、対前年度40人の増となった。

(単位：人)

区分	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R6	2,013	1,453	36	3,502
R5	2,016	1,405	41	3,462
対前年度	▲3	48	▲5	40
対前年度比	100%	103%	88%	101%

※不明者：島根県人口移動調査票（転入調査票）において、「島根県の居住歴」に対して未回答、かつ、転入市町村に5年以上住む意思を示している者

【日本人・外国人の内訳】

■ 日本人

総数は3,154人で、対前年度20人の増となった。

(単位：人)

区分	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R6	1,940	1,189	25	3,154
R5	1,954	1,145	35	3,134
対前年度	▲14	44	▲10	20
対前年度比	99%	104%	71%	101%

■ 外国人

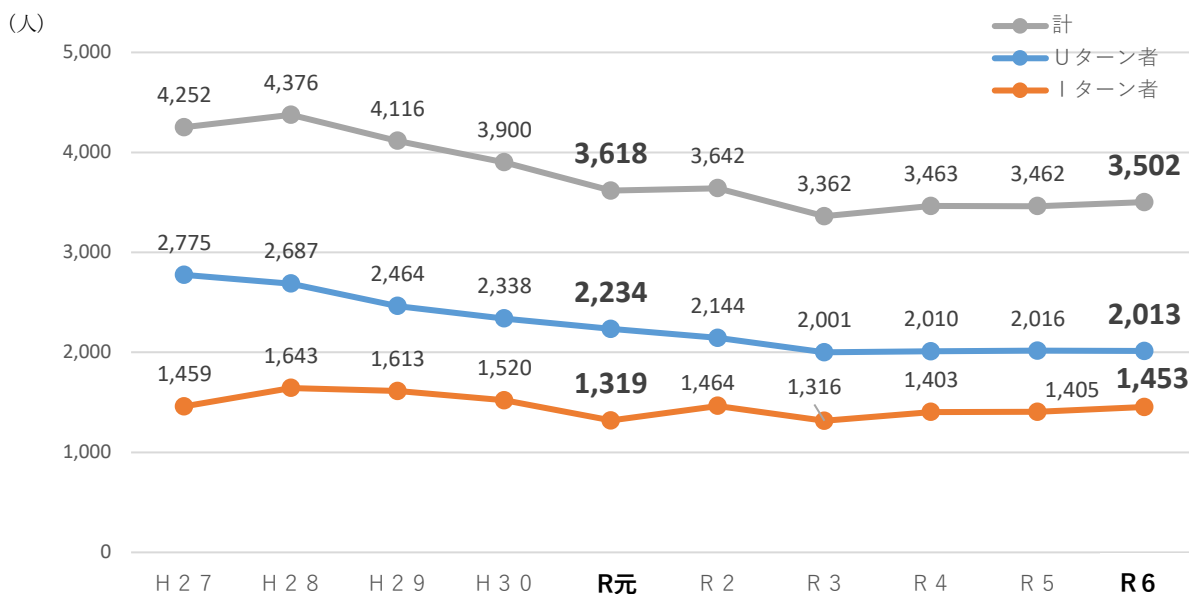
総数は348人で、対前年度20人の増となった。

(単位：人)

区分	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R6	73	264	11	348
R5	62	260	6	328
対前年度	11	4	5	20
対前年度比	118%	102%	183%	106%

(2) 年度別Uターン・Iターン者数の推移 (H27年度～R6年度)

- ・ Uターン者数は全体の約6割(57%)、Iターン者数は約4割(41%)の構成に変化はない。
- ・ コロナ禍前(令和元年度)に比べ、Uターン者数は減少傾向で、Iターン者数は増加傾向にある。



2. 年代別Uターン・Iターン者の状況

(1) 年代別Uターン・Iターン者数

- ・ 20～30歳代が全体の約半数(46%)を占める構造に変化はない。
- ・ 20歳代のUターン・Iターン者数はいずれも増加し、合わせて30人増加した。
- ・ 30歳代のUターン・Iターン者数はいずれも減少し、合わせて9人減少した。

単位：人

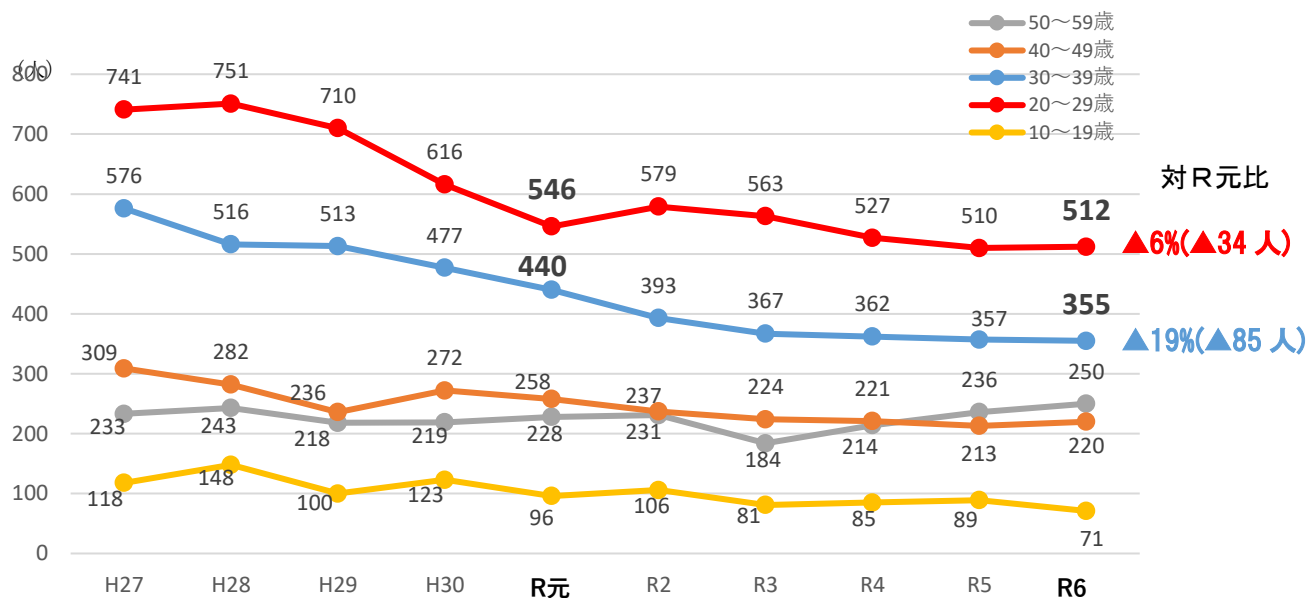
	Uターン者				Iターン者				計			
	R6	R5	対前年度	対前年度比	R6	R5	対前年度	対前年度比	R6	R5	対前年度	対前年度比
70歳以上	156	159	▲ 3	98%	87	121	▲ 34	72%	243	280	▲ 37	87%
60～69歳	214	215	▲ 1	100%	70	95	▲ 25	74%	284	310	▲ 26	92%
50～59歳	250	236	▲ 14	106%	155	117	▲ 38	132%	405	353	▲ 52	115%
40～49歳	220	213	▲ 7	103%	176	164	▲ 12	107%	396	377	▲ 19	105%
30～39歳	355	357	▲ 2	99%	298	305	▲ 7	98%	653	662	▲ 9	99%
20～29歳	512	510	▲ 2	100%	427	399	▲ 28	107%	939	909	▲ 30	103%
10～19歳	71	89	▲ 18	80%	114	78	▲ 36	146%	185	167	▲ 18	111%
10歳未満	235	237	▲ 2	99%	126	126	0	100%	361	363	▲ 2	99%
計	2,013	2,016	▲ 3	100%	1,453	1,405	▲ 48	103%	3,466	3,421	▲ 45	101%

※不明者については、Uターン、Iターンの区別がつかないため含んでいない。

(2) 年代別のUターン・Iターン者数の推移 (H27年度～R6年度)

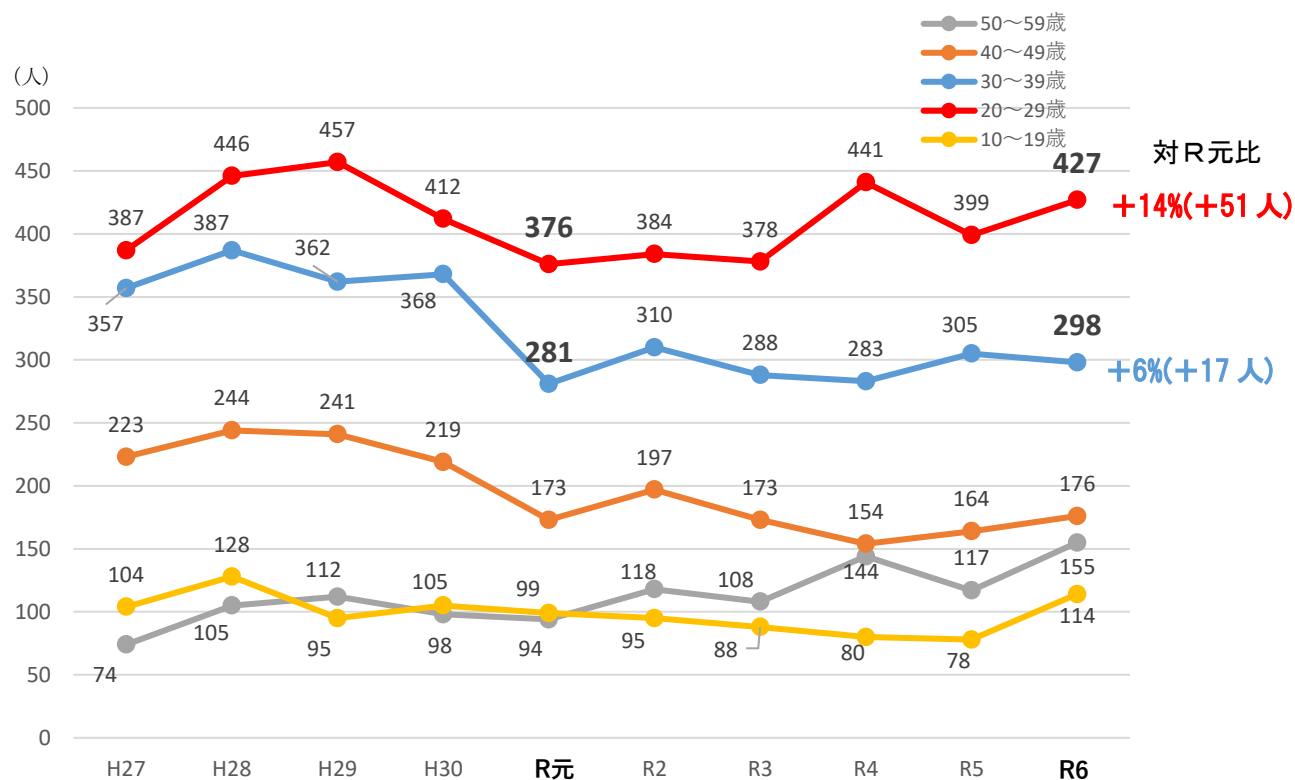
① Uターン者数

令和元年度に比べ、50歳代(+10%)が増加しているが、他の年代は減少しており、特に30歳代(▲19%)が大きく減少している。



② Iターン者数

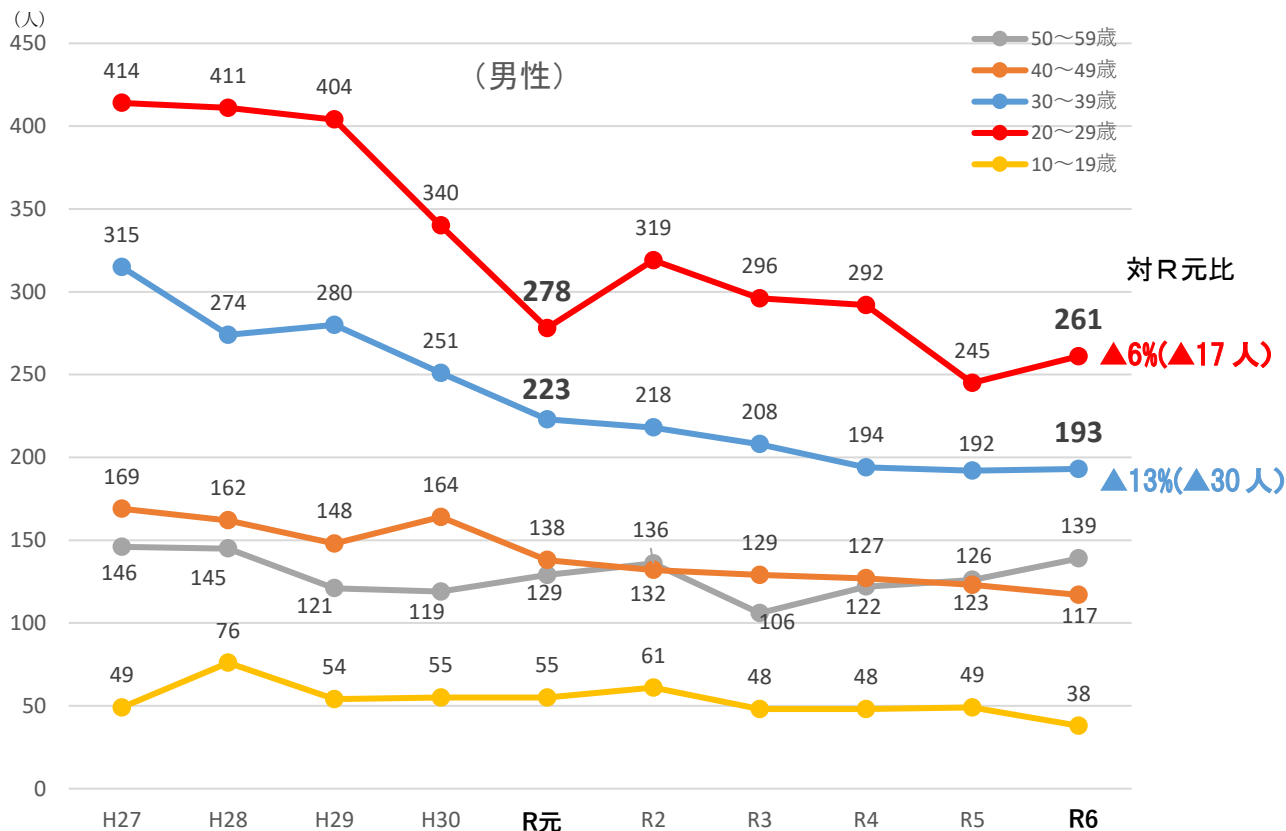
令和元年度に比べ、全ての年代で増加しており、特に、20歳代(+14%)、50歳代(+65%)が大きく増加している。



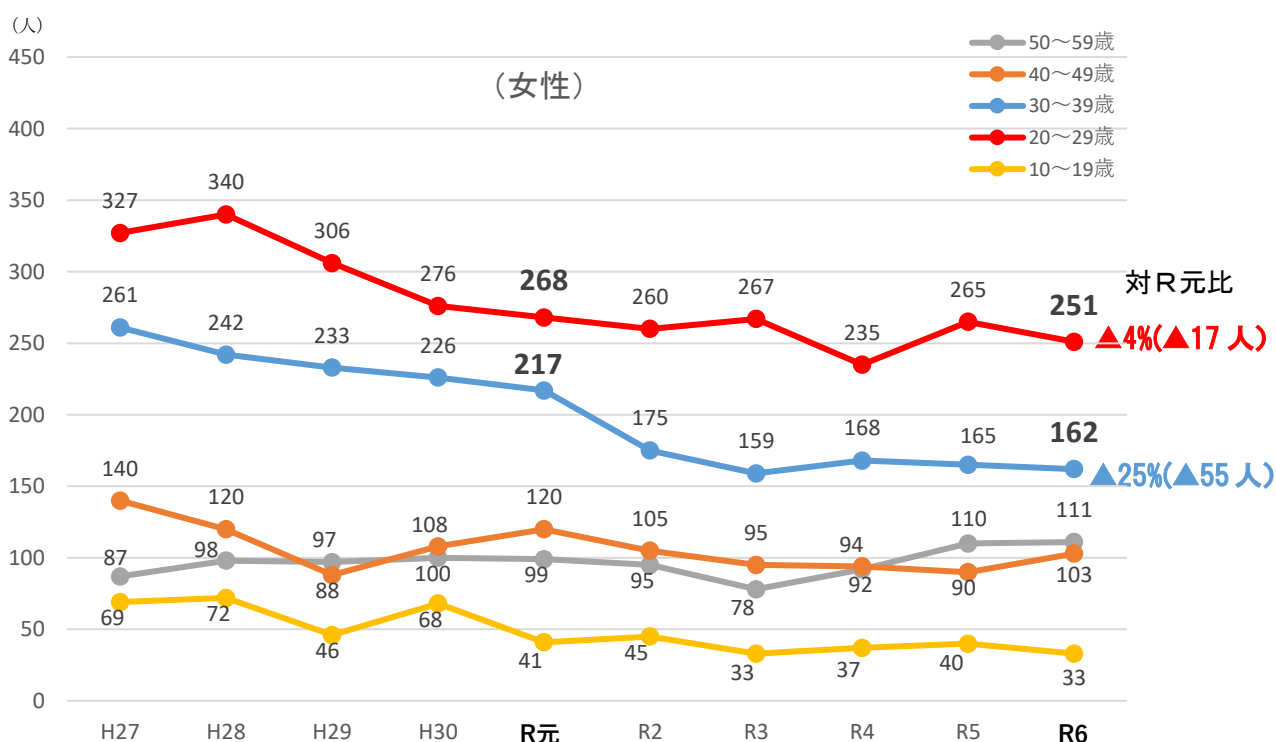
(3) 年代別×性別のUターン・Iターン者数の推移 (H27年度～R6年度)

① Uターン者数

男性は、令和元年度に比べ、50歳代(+8%)は増えているが、他の年代は減少している。

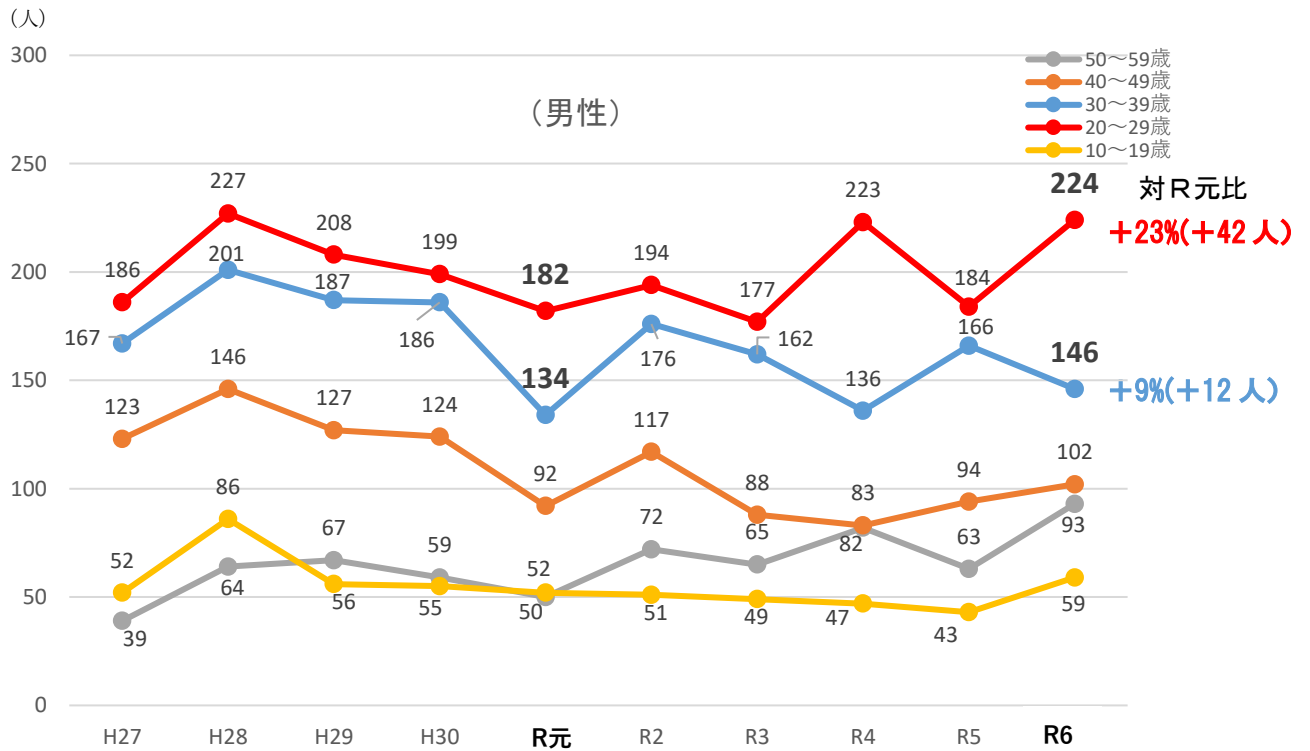


女性は、令和元年度に比べ、50歳代(+12%)は増えているが、他の年代は減少している。特に30歳代(▲25%)が大きく減少している。

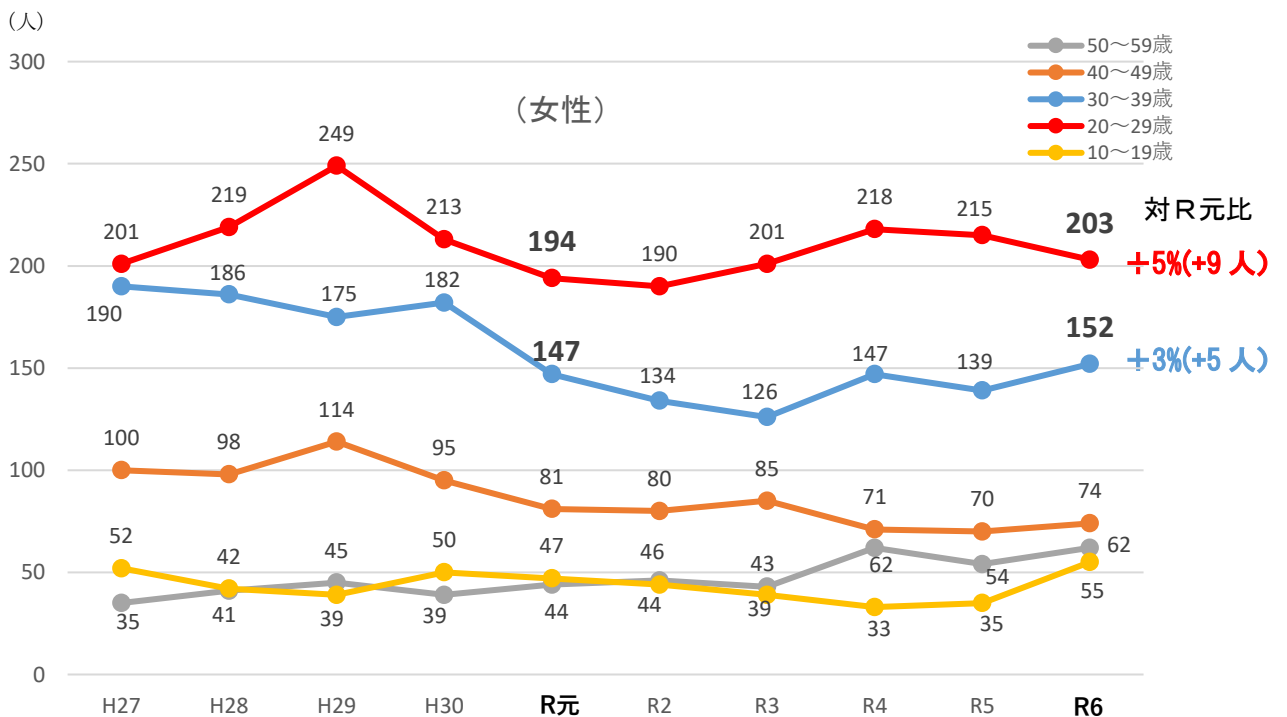


② I ターン者数

男性は、令和元年度に比べ、全ての年代で増加している。特に、20 歳代（+23%）、50 歳代（+86%）が大きく増加している。



女性は、令和元年度に比べ、40 歳代（▲9%）は減少しているが、他の年代では増加し、特に 50 歳代（+41%）が大幅に増加している。



(4) 年代別の転入理由（上位3項目）

20歳代、30歳代のUターン者、Iターン者ともに転入理由については「仕事」に関するものが多い。

① Uターン者

理由別	男性						女性					
	1		2		3		1		2		3	
70歳以上	退職・家族の事情	55%	その他	31%	住宅	8%	退職・家族の事情	49%	その他	34%	住宅	13%
60～69歳	退職・家族の事情	62%	転勤	12%	その他	7%	退職・家族の事情	63%	その他	15%	住宅	8%
50～59歳	退職・家族の事情	34%	転勤	30%	転職・転業	11%	退職・家族の事情	50%	転勤	14%	その他	11%
40～49歳	退職・家族の事情	30%	転勤	30%	転職・転業	6%	退職・家族の事情	22%	転職・転業	18%	結婚・離婚等	16%
30～39歳	転勤	29%	転職・転業	25%	退職・家族の事情	13%	転勤	22%	退職・家族の事情	18%	転職・転業	15%
20～29歳	就職	29%	転職・転業	25%	退職・家族の事情	19%	就職	27%	転職・転業	21%	退職・家族の事情	15%
10～19歳	退職・家族の事情	23%	転勤	21%	就学・卒業等	21%	退職・家族の事情	33%	就学・卒業等	24%	結婚・離婚等	15%
10歳未満	結婚・離婚等	24%	転勤	15%	転職・転業	15%	転勤	22%	転職・転業	15%	結婚・離婚等	13%

② Iターン者

理由別	男性						女性					
	1		2		3		1		2		3	
70歳以上	退職・家族の事情	39%	その他	36%	住宅	12%	退職・家族の事情	45%	住宅	21%	住宅	14%
60～69歳	転勤	32%	退職・家族の事情	24%	住宅	18%	退職・家族の事情	63%	その他	15%	転勤	12%
50～59歳	転勤	28%	就職	18%	転職・転業	18%	転勤	19%	転職・転業	17%	その他	16%
40～49歳	転職・転業	30%	転勤	27%	就職	15%	就職	20%	転職・転業	20%	結婚・離婚等	18%
30～39歳	転職・転業	30%	就職	19%	転勤	16%	結婚・離婚等	25%	就職	21%	転職・転業	19%
20～29歳	就職	44%	転職・転業	17%	転勤	13%	就職	29%	結婚・離婚等	25%	転職・転業	11%
10～19歳	就学・卒業等	37%	就職	27%	転職・転業	10%	就学・卒業等	29%	就職	25%	退職・家族の事情	14%
10歳未満	就学・卒業等	25%	退職・家族の事情	21%	転職・転業	10%	就学・卒業等	22%	退職・家族の事情	22%	転職・転業	14%

3. 地域別Uターン・Iターン者数

(1) R6年度とR5年度の比較

- ・ 中国地方、西近畿、南関東の3地域でUターン・Iターン者数の7割（71%）を占めている。
- ・ 上記3地域の対前年度比は、南関東（+23人）、西近畿（▲28人）、中国（▲81人）で、中国地方で大きく減少している。
- ・ 北関東からのUターン・Iターン者数が大きく増加している。

（単位：人）

	Uターン者				Iターン者				計			
	R6	R5	対前年度	対前年度比	R6	R5	対前年度	対前年度比	R6	R5	対前年度	対前年度比
北海道	11	9	2	122%	17	8	9	213%	28	17	11	165%
東北	21	26	▲5	81%	25	28	▲3	89%	46	54	▲8	85%
北関東	37	14	23	264%	31	12	19	258%	68	26	42	262%
南関東	387	358	29	108%	231	237	▲6	97%	618	595	23	104%
北陸・東山	25	15	10	167%	37	27	10	137%	62	42	20	148%
東海	91	97	▲6	94%	117	77	40	152%	208	174	34	120%
東近畿	35	37	▲2	95%	38	27	11	141%	73	64	9	114%
西近畿	369	406	▲37	91%	223	214	9	104%	592	620	▲28	95%
中国	785	836	▲51	94%	474	504	▲30	94%	1,259	1,340	▲81	94%
四国	59	59	0	100%	42	28	14	150%	101	87	14	116%
九州・沖縄	103	81	22	127%	100	97	3	103%	203	178	25	114%
国外	90	78	12	115%	118	146	▲28	81%	208	224	▲16	93%
計	2,013	2,016	▲3	100%	1,453	1,405	48	103%	3,466	3,421	45	101%

【地域区分】 ※ 下線は各地域内でUターン・Iターン者数が最も多かった都道府県

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸・甲信越：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

東近畿：滋賀県、奈良県、和歌山県

西近畿：京都府、大阪府、兵庫県

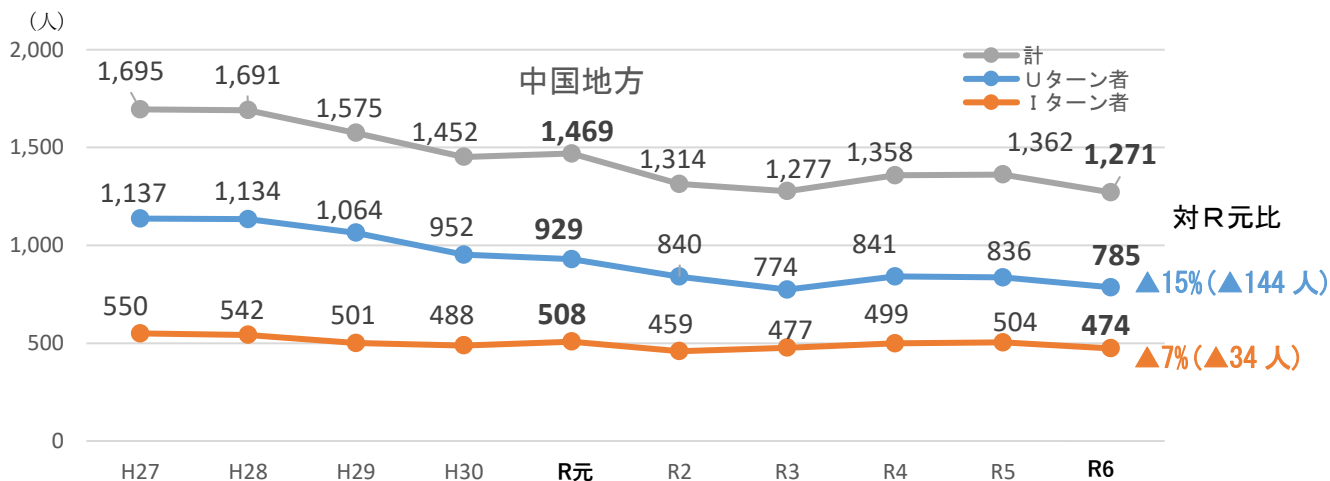
中国：鳥取県、（※島根県は除く）、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

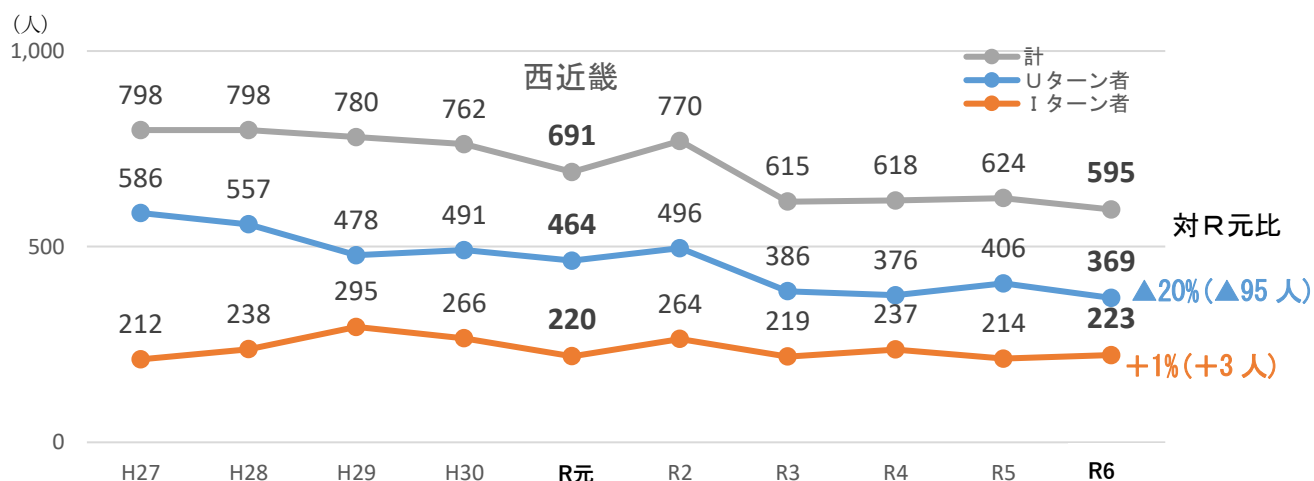
九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(2) 地域別Uターン・Iターン者数の推移（上位3地域）（H27年度～R6年度）

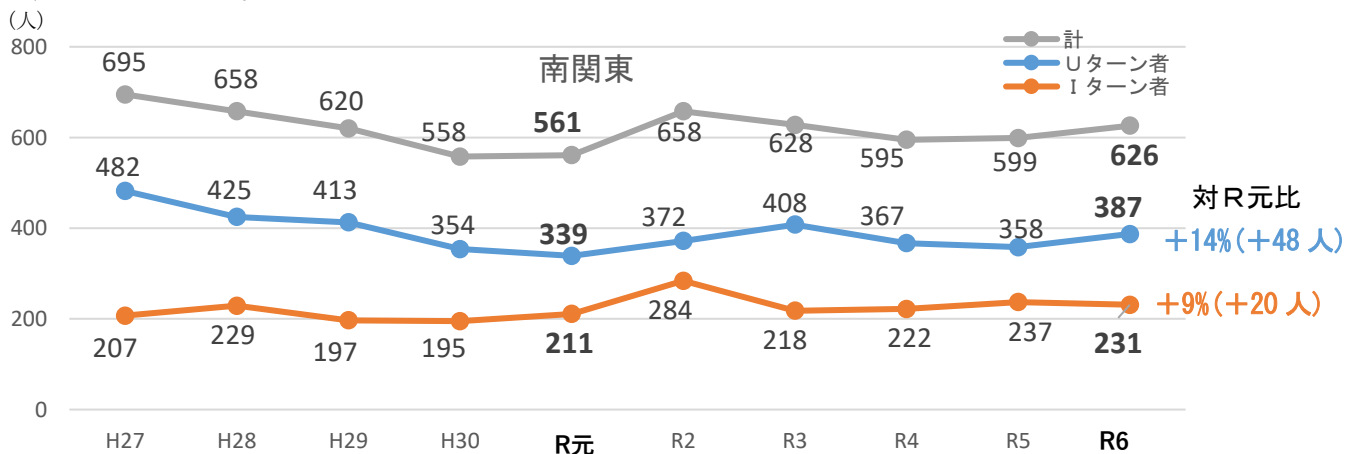
中国地方は、令和元年度以降、Uターン者数（▲15%）、Iターン者数（▲7%）とも減少傾向にある。



西近畿は、令和元年度以降、Uターン者数（▲20%）は減少傾向だが、Iターン者数（+1%）は概ね横ばい状況にある。



南関東は、令和元年度以降、Uターン者数（+14%）、Iターン者数（+9%）ともに増加傾向にある。



4. 市町村別Uターン・Iターン者数

(1) R6年度とR5年度の比較

(単位：人)

	Uターン者				Iターン者				計				Uターン・Iターン者数 /推計人口 (R7.4.1時点)
	R6	R5	対前年度	対前年度比	R6	R5	対前年度	対前年度比	R6	R5	対前年度	対前年度比	
松江市	689	645	44	107%	405	402	3	101%	1,094	1,047	47	104%	0.56%
浜田市	133	128	5	104%	90	74	16	122%	223	202	21	110%	0.45%
出雲市	537	496	41	108%	437	467	▲30	94%	974	963	11	101%	0.57%
益田市	106	109	▲3	97%	83	57	26	146%	189	166	23	114%	0.45%
大田市	56	72	▲16	78%	55	51	4	108%	111	123	▲12	90%	0.37%
安来市	82	138	▲56	59%	40	55	▲15	73%	122	193	▲71	63%	0.36%
江津市	77	89	▲12	87%	46	48	▲2	96%	123	137	▲14	90%	0.59%
雲南市	82	78	4	105%	40	34	6	118%	122	112	10	109%	0.37%
奥出雲町	28	20	8	140%	24	20	4	120%	52	40	12	130%	0.49%
飯南町	13	13	0	100%	22	24	▲2	92%	35	37	▲2	95%	0.86%
川本町	20	12	8	167%	13	20	▲7	65%	33	32	1	103%	1.12%
美郷町	16	14	2	114%	19	10	9	190%	35	24	11	146%	0.91%
邑南町	22	20	2	110%	22	11	11	200%	44	31	13	142%	0.48%
津和野町	30	40	▲10	75%	18	12	6	150%	48	52	▲4	92%	0.79%
吉賀町	50	53	▲3	94%	56	57	▲1	98%	106	110	▲4	96%	1.96%
海士町	17	7	10	243%	18	12	6	150%	35	19	16	184%	1.60%
西ノ島町	10	16	▲6	63%	16	12	4	133%	26	28	▲2	93%	1.04%
知夫村	2	0	2	—	2	0	2	0%	4	0	4	—	0.72%
隠岐の島町	43	66	▲23	65%	47	39	8	121%	90	105	▲15	86%	0.72%
計	2,013	2,016	▲3	100%	1,453	1,405	48	103%	3,466	3,421	45	101%	0.55%

注) 知夫村はR5年実績が0人のため、対前年度比は—とする。

【Uターン・Iターン者数の増減が大きい市町村】

区分	Uターン者	Iターン者	計
増 (+)	①松江市 (+44人) ②出雲市 (+41人) ③海士町 (+10人)	①益田市 (+26人) ②浜田市 (+16人) ③邑南町 (+11人)	①松江市 (+47人) ②益田市 (+23人) ③浜田市 (+21人)
減 (▲)	①安来市 (▲56人) ②隠岐の島町 (▲23人) ③大田市 (▲16人)	①出雲市 (▲30人) ②安来市 (▲15人) ③川本町 (▲7人)	①安来市 (▲71人) ②隠岐の島町 (▲15人) ③江津市 (▲14人)

5. 外国人Uターン・Iターン者数

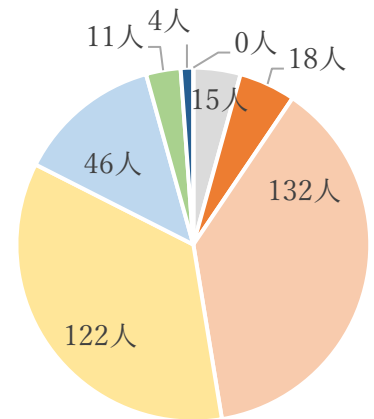
(1) 年代別

- 外国人のUターン・Iターン者数は348人で、Iターン者が76% (264人/348人) を占めている。
- 年代別では、20歳代が132人と最も多くなっている。

年代別Uターン・Iターン者

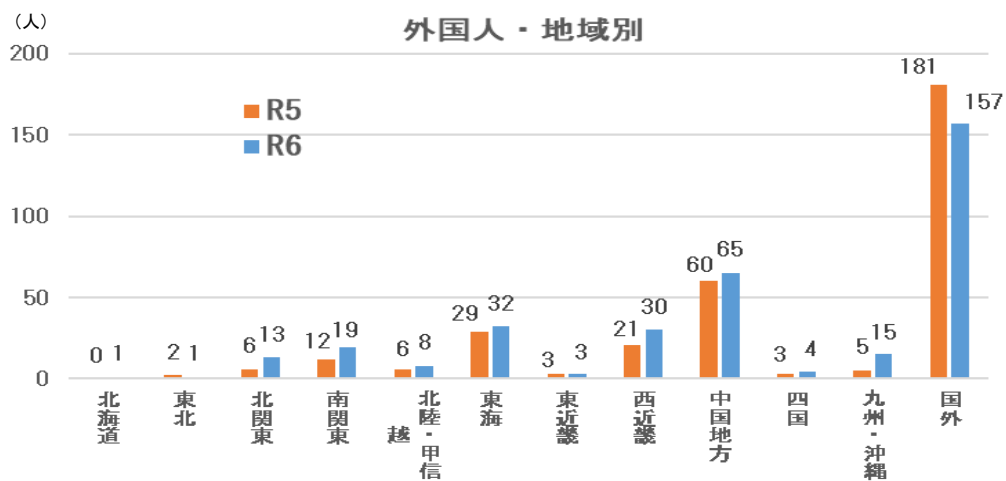
(単位：人)

区分	Uターン者	Iターン者	不明者	計
R6	73	264	11	348
R5	62	260	6	328
対前年度	9	4	5	20
対前年度比	118%	102%	183%	106%

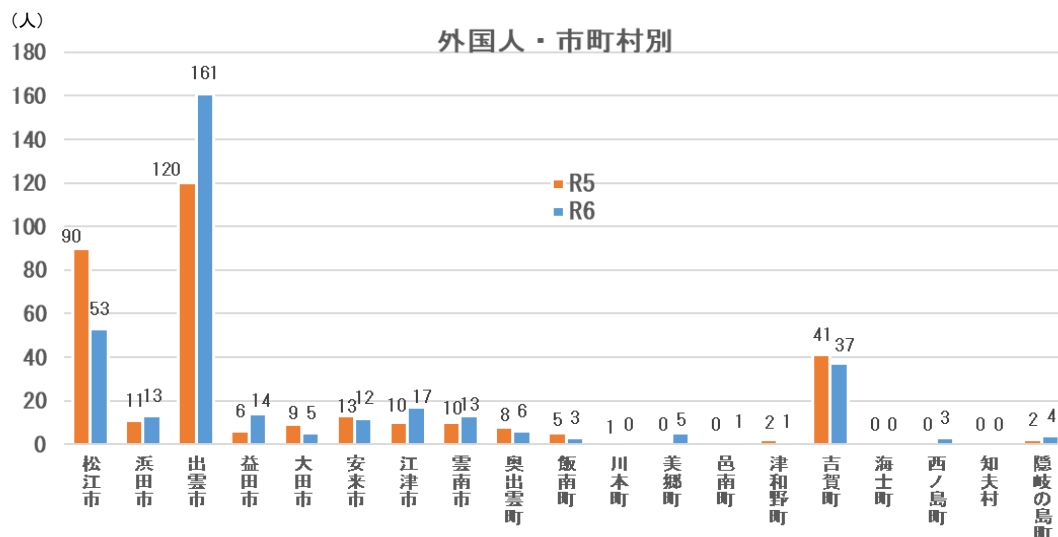


■ 10歳未満 ■ 10～19歳 ■ 20～29歳 ■ 30～39歳
■ 40～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60～69歳 ■ 70歳以上

(2) 地域別



(3) 市町村別



6. 令和6年度Uターン・Iターン施策に関する参考数値

(1) ふるさと島根定住財団と連携したUターン・Iターン支援

① 無料職業紹介事業

区分	しまね登録者数	当該年度 求職登録者数	当該年度 就職決定者数
R元	-	644	316
R2	-	736	282
R3	17,266	618	283
R4	20,794	930	295
R5	28,646	771	337
R6	33,397	805	348

注) しまね登録は、R3より運用開始のため、R元、R2実績は一とする。

(参考数値) しまね学生登録実績 R元 12,030人、R2 12,056人

② UIターンしまね産業体験

区分	認定者数	(内訳)	
		(Uターン者)	(Iターン者)
R元	83	-	-
R2	93	-	-
R3	103	20	83
R4	107	37	70
R5	61	20	41
R6	72	20	52

注) Uターン者・Iターン者の内訳集計は、R3より開始したため、R元、R2実績は一とする。

③ イベント しまね移住フェア&しまね暮らしマルシェ

大阪会場 来場者

区分	フェア部分		マルシェ部分
	組	人	組
R5	102	140	-
R6	587	935	1,882

注) しまね移住フェアは、R5より開催(大阪会場は、R5はフェアのみ、R6よりマルシェを導入)

注) R5はマルシェ非開催のため、実績および、対前年度比は一とする。

(参考数値) R元 UターンIターンフェア 103組138人

R4 UターンIターンフェア 92組125人

(R2~R3コロナのため、対面イベント非開催)

東京会場 来場者

区分	フェア部分		マルシェ部分
	組	人	組
R 5	304	461	968
R 6	805	1,209	1,326

注) しまね移住フェアは、R5 より開催

(参考数値) R元 UターンIターンフェア 135組170人

R4 UターンIターンフェア 142組202人

(R2～R3 コロナのため、対面イベント非開催)

(2) わくわく島根生活実現支援事業

移住支援金の支給実績

区分	申請要件				
	就業	テレワーク	関係人口	起業	計
R元	2	-	-	1	3
R2	13	0	0	1	14
R3	16	4	2	4	26
R4	12	16	3	0	31
R5	19	24	5	3	51
R6	20	26	6	1	53

注) R元の申請要件は、就業要件、起業のみ。よって、テレワーク要件、関係人口要件の実績は一とする。

注) R2より申請要件が拡充し、テレワーク要件、関係人口要件が加わる。

移住支援金の移住者数

区分	移住者数				(帯同者のうち18歳未満の子ども)
	単身申請者	世帯申請者	世帯申請者の帯同者	計	
R元	0	3	4	7	-
R2	8	6	10	24	-
R3	10	16	20	46	-
R4	20	11	23	54	(3)
R5	26	25	42	93	(18)
R6	22	31	51	104	(24)

注) R元は、18歳未満の子ども人数は集計していないため、実績は一とする。

注) R4より、子加算が加わる。(18歳未満の子ども一人につき30万円の支給)

注) R5に子加算の金額が増額。(18歳未満の子ども一人につき100万円の支給)